

第23回（平成20年度）
商業経済検定試験問題
〔経済活動と法〕

解答上の注意

1. この問題のページは2から16までです。
2. 解答はすべて別紙解答用紙に記入しなさい。
3. 問題用紙の表紙に受験番号を記入しなさい。
4. 文字または数字で記入するもの以外はすべて記号で答えなさい。
5. 選択問題Ⅰ〔企業活動に関する法〕・選択問題Ⅱ〔社会生活に関する法〕は2分野のうち1分野を解答すること。2分野を解答した場合は、選択問題すべてを無効とします。
6. 計算用具や六法全書などの持ち込みはできません。
7. 制限時間は60分です。

※ 試験終了後、問題用紙も回収します。

① 次の文章を読み、問いに答えなさい。

私たちが平穏で円滑な生活を送るためには、(a)法、慣習、道徳など、社会生活を営む上で誰もが守らなければならないルールが必要となる。

自転車に関する交通ルールは、主に道路交通法という法律により定められている。平成19年に、(b)道路交通法が改正され官報を通じて国民に内容が知らされた。その改正では、自転車を安全に利用するため、普通自転車の歩道通行可能要件を明確化したり、保護者に対して児童・幼児が自転車に乗車する際、ヘルメット着用の努力義務を課したりしている。

また、交通ルールは地方公共団体ごとに定められているものもある。例えば、愛知県豊田市が定めた「豊田市自転車等放置防止条例」や「(c)豊田市自転車等放置防止規則」では自転車の放置防止のルールを決めている。このように法は日常生活のルールについても定めているのである。

問1. 下線部(a)を何というか、次のなかから最も適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 社会規範 イ. 信義則 ウ. 就業規則

問2. 下線部(b)を何というか、漢字で正しい用語を記入しなさい。

問3. 下線部(c)はどのような法か、次のなかから正しいものを一つ選びなさい。

- ア. 地方公共団体の議会が制定する成文法
イ. 地方公共団体の長が制定する成文法
ウ. 地方公共団体の議長が制定する成文法

② 次の文章を読み、問いに答えなさい。

Aは独り暮らしの老人である。Aには5年間飼っている猫がいて、とてもかわいがっていた。

ある日、Aは昼食をとるため、この猫を連れて出かけた。たまたま見つけた飲食店の看板に、「犬を同伴する方の入店歓迎」と書いてあった。そこで、Aは、この看板から「(a)犬を同伴する入店が可能ならば猫を同伴する入店も可能なはずだ」と考え、店員に聞いてみると、店員は「猫の同伴もかまいません」というので、飲食店で、猫と一緒に食事をすることができた。

食事の帰り道で、Aは、「自分が亡くなったら、面倒見てくれる人がいないので、この猫は生きていけるだろうか」と、ふと心配になった。そこで、Aは、自分が生きている間に資産の一部をこの猫に贈与したいと思った。偶然、法律に詳しいBに会ったので、「(b)今すぐに自分の預金の一部をこの猫に贈与できないだろうか」と尋ねてみた。

問1. 下線部(a)のような法の解釈を何というか、次のなかから正しいものを一つ選びなさい。

- ア. 反対解釈 イ. 類推解釈 ウ. 文理解釈

問2. 下線部(b)の結論はどのようになるか、次のなかから適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 猫には権利能力が無いので、Aの預金はこの猫のものにすることができない。
イ. 猫にも権利能力があるので、Aの預金はこの猫のものにすることができる。
ウ. 猫の権利能力には関係なく、Aの預金はこの猫のものにすることができる。

③ 次の文章を読み、問いに答えなさい。

私たちの暮らしには、生活を豊かにするたくさんものがある。そのなかには、人間が苦勞して考え出した新しい発明・考案や著作などがもとになって、作られているものがある。

そこで、(a)新しい発明・考案や著作など、人間の考え出した無形のもので、経済的な利益になりうる場合には、その利益を排他的に支配する権利がある。この権利には、小説や絵画のような、自分の独特の考えや表現を守るために与えられる著作権と、商標権・特許権など、その権利を得た者の経済的な利益を守るために与えられる産業財産権(工業所有権)がある。

産業財産権は、その権利を取得した者に、多くの利益をもたらす可能性があるため、登録制となっている。このような例がある。A社は新商品として、ピンクのハート型バケツの製造を考えた。ハート型のバケツは、他のバケツに比べかわいいので、A社は(b)このハート型のバケツの意匠を特許庁に出願して登録することにした。その後、このバケツは女子学生が小物入れとしても使うこともあり、大ヒット商品となったが、法律が定める期間はA社が独占して製造することができた。

ところで、最近、諸外国において、わが国やアメリカのアニメーションのキャラクターがその権利を取得した者の許可を得ることなく使用されていたことが話題になったように、産業財産権の侵害に関しては問題が取りざたされている。そこで、(c)産業財産権について専門的な知識をもち、産業財産権の権利化の手続きや紛争処理などを行うための国家資格を有している者が注目されている。この職業に就く者には、産業財産権が国際的にも保護されるものであるため、わが国だけでなく、諸外国における法律についても専門的な知識が必要とされる。この職業に就く者は、今後はこれまで以上に、世界を舞台に活躍することが多くなるであろう。

問1. 本文の主旨から、下線部(a)の権利を何というか、漢字4文字を補って正しい用語を完成させなさい。

問2. 本文の主旨から、下線部(b)で登録した産業財産権はどのようなものか、次のなかから最も適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 新しい機械や器具など、自然法則を利用した技術的思想の創作のうち高度なもの
- イ. 品物の形や構造または組み合わせの方法など、実用的な産業上の新しく考案されたもの
- ウ. 品物の形・模様・色またはこれらの結合など、視覚を通じて美的感覚を生じさせるもの

問3. 下線部(c)を何というか、次のなかから正しいものを一つ選びなさい。

- ア. 行政書士
- イ. 司法書士
- ウ. 弁理士

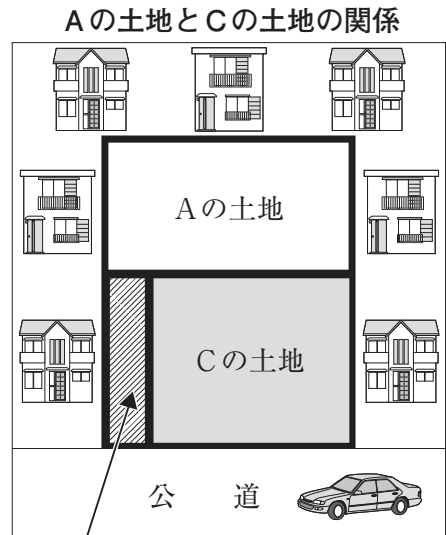
④ 次の文章を読み、問いに答えなさい。

物権とは、ある一定の物を、他人からの影響や干渉を排除して直接に支配し、利用できることを内容とする権利である。物権は、物を独占的に支配できる権利であるから、(a)ひとつの物の上に同一内容の物権が2つ以上成立することはない。しかし、他人の所有する土地を、一定の制限内で使用・収益する物権として、民法上、用益物権が定められている。

[事例]

以前、Aは、Bの土地の一部をBから購入した。その時、袋地となったので、(b)AはBに対し、「私の土地から公道へ出るための最低限の部分でいいので、あなたの土地の一部を、利用させて欲しい」と申し入れ、AはBと契約を結び、利用していた。

最近、BはCに残りの土地を売却したため右図のようになったが、その後もAはこれまで通り土地の一部を利用して来た。しかし、Cから、「私の土地であるから、今後は利用しないでいただきたい」といわれ、困ってしまった。そこで、Aは、土地の利用について調べてみると、これまで他人の土地を利用できたのは、用益物権という物権によるものであると知った。その後、(c)AはCに対して、Cの土地の利用を申し入れることにした。



Aが公道へ出るために
利用したいCの土地

問1. 下線部(a)のような原則を何というか、次のなかから正しいものを一つ選びなさい。

- ア. 無過失責任主義 イ. 物権法定主義 ウ. 一物一権主義

問2. 下線部(b)のようなAが契約を結んだ用益物権を何というか、漢字2文字を補って正しい用語を完成させなさい。

問3. 本文の主旨から、下線部(c)の結論はどのようになるか、次のなかから最も適切なものを一つ選びなさい。

- ア. Cが主張を続けるならば、Aはいかなる場合も、通行に際して必要最低限であっても、Cの土地を通行できない。
- イ. Cが主張を続けても、Aは新たに通行料を支払うとCに通告することにより、通行に際して必要最低限の範囲で、Cの土地を通行することができる。
- ウ. Cの主張に関わらず、Aはこれまでどおり、通行に際して必要最低限の範囲で、Cの土地を通行することができる。

⑤ 次の文章を読み、問いに答えなさい。

物と物とのあいだには、特別な関係がみられる場合がある。例えば、2つの物がお互いに経済的効用を補いあっている場合、その補われている物を(a)主物といい、補っている物を(b)従物という。

また、ある物が他の物を生み出す場合は、生み出すものを元物、生み出されるものを果実という。さらに果実には元物から自然に生み出される天然果実と、元物を他人に使用させてその対価として受け取る法定果実がある。

[事例]

Aは、(c)X市Y1丁目1番地にある住宅を1か月6万円の家賃でBに貸していた。Aは、3月下旬に4月分の家賃をBから前払いで受け取った。

ところが、Aは、4月20日に、その住宅をBに貸したまま、Cに売却した。すると、4月30日に、AはCから「4月分の家賃をBに請求したが、すでに全額、支払ったとっている。現在、Bの住宅を所有している者が、4月分の家賃を受け取ることができるはずだ」と主張された。しかし、Aは「月初に、Bの住宅を所有していた者が、その月の家賃を受け取るべきだ」と反論した。

そこで、(d)AとCは、民法において、Bの4月分の家賃は誰が、いくら受け取ることができるのかを調べてみることにした。

問1. 下線部(a)と下線部(b)の関係を満たす組み合わせとして、次のなかから適切なものを一つ選びなさい。

ア. (a)テレビ・(b)ビデオテープ イ. (a)牛・(b)牛乳 ウ. (a)建物・(b)畳

問2. 下線部(c)を物の種類として分類するとどれにあたるか、次のなかから正しいものを一つ選びなさい。

ア. 特定物 イ. 不特定物 ウ. 附合物

問3. 下線部(d)の結論はどうなるか、次のなかから正しいものを一つ選びなさい。

ア. Aは4万円、Cは2万円を、それぞれ受け取ることができる。

イ. Aは受け取ることができず、Cが6万円を受け取ることができる。

ウ. Cは受け取ることができず、Aが6万円を受け取ることができる。

⑥ 次の文章を読み、問いに答えなさい。

法人は、法律に定められた一定の手続きをとって設立されたときに、はじめて権利能力をもつことになり、法人としての権利を得たり、義務を負ったりすることができる。法人の設立において、(a)社団法人では、その組織・活動を定める根本規定を作成し、官庁の許可を求めることなど、一定の設立手続きが必要である。

法人は、その設立目的により分類することができる。例えば、日本医師会のように、自己の利益の追求ではなく、社会全体の利益の向上を目的としている法人を公益法人という。また、株式会社のように自己の利益の追求を目的としている法人を□□という。

ところで、実際には法人と同じような組織をもち、活動している団体もある。同窓会、PTA、町内会、親睦団体、互助会などでは、法人格を持っていない団体も少なくない。これらの団体を権利能力なき社団という。(b)権利能力なき社団の中には法人格を取得していないことで、その活動に不都合なことが起こる場合がある。

問1. 下線部(a)を何というか、次のなかから正しいものを一つ選びなさい。

- ア. 寄付行為 イ. 定款 ウ. 約款

問2. 文中の□□に入るものは何か、次のなかから最も適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 公法人 イ. 営利法人 ウ. 特定非営利活動法人

問3. 下線部(b)の例として、次のなかから最も適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 町内会が建物を購入するとき、その団体名で登記することができない。
イ. PTAが活動広報誌を制作するとき、その団体名で発行することができない。
ウ. 同窓会が定期総会を開くとき、その団体名で開催することができない。

7 次の文章を読み、問いに答えなさい。

Aは、料亭で調理師になるための修行中で、母と二人で暮らしている。母は、以前から物忘れがみられたが、最近症状が進み、買物の際に1万円札を出したか5千円札を出したか、分からなくなることが多くなり、日常生活に支障が出てきた。このように母は、(a)法律行為を行うためには、自分がしようとする行為の意味や性質について、正常に判断する能力が著しく不十分であった。不安に感じたAは法律を調べると、制限行為能力者制度があることを知り、この制度を利用することにした。Aは、母と一緒に家庭裁判所に行き、母に保佐開始の審判を受けてもらった。その後、家庭裁判所の審判によって、(b)母は被保佐人となり、Aが法定代理人として保佐人となった。

しばらくたったある日、母は、B不動産店を訪れ、「息子に出店させる資金にしたいので土地を売却したい」と、申し入れた。B不動産店は、査定した結果、とてもよい物件だったので、この土地を買い取ることにした。そこで、B不動産店は、母と売買契約を結ぶことにしたが、契約直前に、母から「私は被保佐人です」と申告された。そこで、B不動産店は契約を結んだ後、Aに、(c)「保佐人であるAさんにこの売買契約を認めるかどうかの確答を本日より2か月以内にしていただきたい」という主旨の書類を内容証明郵便で送付した。Aは、この契約にとっても驚き、母に感謝したが、まだ、店をもつ実力がなかったので修行を続けようと思い、B不動産店との売買契約を取り消すことにした。

問1. 下線部(a)を何というか、次のなかから正しいものを一つ選びなさい。

- ア. 弁済能力 イ. 意思能力 ウ. 訴訟能力

問2. 下線部(b)により母の行為能力はどのようになるか、次のなかから最も適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 母は、借金・保証・不動産の売買など財産上重要な意味をもつ法律行為については、Aの同意が必要となる。
イ. 母は、預金の管理、不動産の処分、介護契約など特定の法律行為については、Aの同意が必要となる。
ウ. 母は、日常生活に関する行為を除いて、自分で行えないので、預金の管理や重要な財産の売買などの法律行為については、すべて、Aが代理する。

問3. 下線部(c)のB不動産店がおこなった行為を何というか、次のなかから正しいものを一つ選びなさい。

- ア. 勧告 イ. 抗告 ウ. 催告

㊦ 次の文章を読み、問いに答えなさい。

会社を経営しているAは、長野県北佐久郡軽井沢町に別荘を所有したいと思い、軽井沢町に別荘を所有している友人Bに物件探しを依頼した。

その後、Bから軽井沢町に、土地付きで1,200万円の中古別荘があると連絡があり、間取り図と外観図を送付してもらい購入を検討した。そして、Aはこの別荘が気に入ったので、(a)Bに委任状を送付し、自分の代わりに宅地300平方メートルおよび建物100平方メートルの売買契約をするように依頼した。

翌日、(b)Bは委任状を不動産業者に呈示し売買契約を結んだ。その際、Bは別荘の台所の設備が旧式のものであったので、台所の内装をきれいにし最新式の設備を設置すれば、Aが喜ぶと思い、同時にリフォーム工事の契約を結ぼうとした。

しかし、不動産業者は、Bが結ぼうとしているリフォーム工事を(c)無権代理と判断して、リフォーム工事契約を断った。そのため、Bは不動産業者とAが購入を希望している別荘の売買契約のみを行い、Aに売買契約が完了したことを報告した。

問1. 本文の主旨から、下線部(a)のような行為を何というか、次のなかから最も適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 法定代理 イ. 任意代理 ウ. 間接代理

問2. 下線部(b)のような行為を何というか、次のなかから正しいものを一つ選びなさい。

- ア. 供託 イ. 顕名 ウ. 引受

問3. 本文の主旨から、下線部(c)の説明として、次のなかから適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 代理人が与えられた代理権の範囲の取引を行うこと。
イ. 代理人が与えられた代理権の内容を行わないこと。
ウ. 代理人が与えられた代理権の範囲外の取引を行うこと。

㉑ 次の文章を読み、問いに答えなさい。

高校生のAは、横断歩道を渡っているときに、交差点に進入してきた、B商店勤務のCが運転する乗用車に接触されて転倒した。

このとき、Cは速やかに警察署に交通事故の通報を行い、Aは救急車で総合病院に搬送された。そして、Aは検査の結果、足を骨折しており3か月間の入院をすることになった。

交通事故後に警察は、AとCから事故当時の様子を聞き取り現場検証を行った。その結果、事故当時にCは配送業務のためB商店が所有する乗用車を運転し、事故現場の交差点に進入する際に、歩行者に対する安全確認が十分でなかったことが判明した。

その後、AとAの両親は、入院費用と(a)交通事故により身体および精神的に損害を受けたとして、民法の規定による賠償金を請求することを考えた。そこで(b)AとAの両親は、法律を調べると使用者責任について知ったので、民法の規定に従って、請求することにした。

問1. 下線部(a)を何というか、次のなかから正しいものを一つ選びなさい。

- ア. 見舞金 イ. 慰謝料 ウ. 補償料

問2. 本文の主旨から、下線部(b)の結論として、次のなかから最も適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 勤務時間中に会社の乗用車を運転していたときの交通事故であるので、Cの使用者のB商店が支払い、その後B商店には、交通事故をおこしたCに対する求償権が認められない。
- イ. 勤務時間中に会社の乗用車を運転していたときの交通事故であっても、乗用車を運転していたCが支払い、その後Cには、勤務を命じたB商店に対する求償権が認められない。
- ウ. 勤務時間中に会社の乗用車を運転していたときの交通事故であるので、Cの使用者のB商店が支払い、その後B商店には、交通事故をおこしたCに対する求償権が認められる。

10 次の文章を読み、問いに答えなさい。

75歳のAは息子夫婦と同居している。ある日Aは、息子夫婦が外出したので1人で留守番をすることになった。そのとき、セールスマンBの訪問を受け、高級置時計の購入を勧められたが断った。

すると、Bは大声で、「この時計を購入しないと、ただではすまない。時計は後日送付するので、この契約書を書け」と脅した。そして、(a)怖くなったAは、売買契約書に署名・捺印をした。

その後、息子夫婦が帰宅したので、Aは留守中の出来事を話した。息子夫婦は、時計の売買契約がAの意思とは異なるので、(b)契約の取り消しの主張をしたいと思い法律に詳しいCに相談した。

問1. 下線部(a)のような意思表示を何というか、次のなかから最も適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 真意でない意思表示 イ. 意思の欠缺 ウ. 瑕疵ある意思表示

問2. 本文の主旨から、下線部(b)の結論として、次のなかから適切なものを一つ選びなさい。

- ア. AはBから強迫されてはいたが、売買契約書に署名・捺印をしたので、この契約の取り消しを主張することができない。
- イ. AはBから強迫されて売買契約書に署名・捺印をしたので、この契約の取り消しを主張することができる。
- ウ. AはBから強迫されて売買契約書に署名・捺印をしたので、時計が届く前に限り、この契約の取り消しを主張することができない。

11 次の文章を読み、問いに答えなさい。

Aは知人のBから、Bの所有する土地を2,000万円で購入する売買契約を結び、1月10日に、手付金として200万円を支払った。また、残金の1,800万円は2月10日に支払うことにした。

ところが、2月5日に、BからAに対して、Aよりも取引条件のよいCに売買したので、契約を解除して欲しいと申し出があった。

その後、これに納得のいかないAは、BとCに対して、「この土地を購入する権利は自分にある」と主張したが受け入れられなかった。さらに、Aは、2月4日にBとCの間でこの土地の売買契約が成立し、同時に移転登記がされていたことを知った。

問1. 下線部に関して、民法上BはAに対して、契約を解除するために返還する最低金額はいくらか、正しい金額を計算しなさい。

問2. 本文の主旨から、民法上この土地の所有権は誰のものになるか、次のなかから最も適切なものを一つ選びなさい。

- ア. AはCよりも前に土地購入の契約を結んでいるので、契約時の残金をBに支払うことにより、この土地の所有権はAのものになる。
- イ. Bが土地の二重売買契約を行ったため、A・C両方との契約が無効となるので、この土地の所有権はBのものになる。
- ウ. 契約の時期に関係なく、2月4日にBからCへの不動産の移転登記がされているので、この土地の所有権はCのものになる。

12 次の文章を読み、問いに答えなさい。

陶芸品の収集を趣味としているAは、行きつけの陶芸品店で販売されている120万円の有名な陶芸家の作品を購入したいと思っていた。

ところが、Aは70万円しか用意することができなかった。そのため、友人Bに、(a)Aの所有する時価200万円の陶芸品を債権の担保として預け、返済できないときは、競売してその代金から、他の債権者よりも優先して返済する条件で、不足している50万円を借りる契約を申し入れた。

しかし、Bは陶芸品に興味もなく、Aの所有する陶芸品の価値を評価することもできないので、(b)Aが返済できない場合には、債務者であるA以外の第三者が、Aの責任をとって、代わりに返済する人的担保で貸し出すことを検討した。また、利率についても検討し、利率の上限が(c)利息制限法で規制されていることを知った。

その後、BはAに対して、Aの知人のCが保証人になることで、金銭消費貸借契約証書を作成し、50万円を1年後に返済することで貸し出した。そして、利率については、(d)AとBが任意に決めて年利率10%とした。

それから1年後、AからBに対して借金の返済はなかったため、保証人のCに返済を求めた。するとCから、まずはAに対して請求するようにと主張された。そこで、BはAに対して返済するように求めたが、Aは返済しようとはしなかった。そのため、Bは再びCに対して返済を求めたが、Cから(e)検索の抗弁権を主張された。その後も、BはAに対して、何度も返済するように求めたことにより、元本の返済と利息を受け取ることができた。

問1. 下線部(a)のような担保物権を何というか、次のなかから正しいものを一つ選びなさい。

- ア. 質権 イ. 先取特権 ウ. 抵当権

問2. 下線部(b)のようなことを何というか、次のなかから適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 連帯債務 イ. 保証債務 ウ. 連帯保証債務

問3. 本文の事例では、下線部(c)の最高限度の年利率はどのように規定されているか、次のなかから正しいものを一つ選びなさい。

- ア. 年1割5分 イ. 年1割8分 ウ. 年2割

問4. 下線部(d)のような利率を何というか、漢字2文字を補って正しい用語を完成させなさい。

問5. 下線部(e)の内容として、次のなかから最も適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 債務者が返済しない場合に、保証人は債務者に強制執行しやすい財産があることを債権者に証明して、債務者の財産に対して強制執行をせよと主張すること。
イ. 債務者が返済しない場合に、保証人は債務者とともに債務の履行をし、その後、保証人が支払った費用を債務者に返済させることを主張すること。
ウ. 債務者が返済しない場合に、保証人が債務者に代わって債務の履行をし、その後、保証人が支払った費用を債務者に返済させることを主張すること。

13 次の文章を読み、問いに答えなさい。

犬好きの小学校3年生のAは、ある日、家族でペットショップに行った。そこで、Aはいろいろな犬を見て、気に入った柴犬が欲しいと父にお願いした。そして、父は、Aが犬の世話をを行うことを確認して、「(a)冬休みに毎日お母さんのお手伝いをする事ができたら、柴犬を買ってあげる」と約束をした。

Aは、冬休みに毎日、母の手伝いをする事ができた。そこで、父は冬休みの最後の日に、Aが約束を守ることができたのでペットショップを訪れて、Aの欲しがっていた柴犬を購入した。そして、父は自宅に帰りAに「柴犬を大切に育てるんだよ」と言って(b)Aに柴犬を贈った。その後、Aは毎日柴犬の世話をを行い、学校から帰ると近所の公園で一緒に遊んだ。

ところが、ある日、Aが公園でいつものように柴犬と一緒に遊んでいると、買い物帰りに公園を通ったBに突然吠えて飛びかかった。そのとき、Bは飛びかかった柴犬に驚き、購入したばかりの食器を落とした。そのため、食器が壊れたので、Bは(c)柴犬の飼い主に責任があるとして、Aの保護者に食器の購入代金を請求することにした。

問1. 下線部(a)のような条件を何というか、次のなかから正しいものを一つ選びなさい。

- ア. 随意条件 イ. 停止条件 ウ. 解除条件

問2. 下線部(b)は民法上、父からAに対する贈与契約とされるが、契約の性質から分類した場合、どのような組み合わせになるか、次のなかから正しいものを一つ選びなさい。

- ア. 片務契約・無償契約・諾成契約
イ. 片務契約・有償契約・要物契約
ウ. 双務契約・有償契約・諾成契約

問3. 下線部(c)に記されている責任を何というか、次のなかから正しいものを一つ選びなさい。

- ア. 共同不法行為者の責任
イ. 法人の不法行為責任
ウ. 動物占有者の責任

14 次の文章を読み、問いに答えなさい。

会社員のAは、仕事帰りに行きつけの飲食店で食事をした。しかし、Aは財布を会社に忘れてしまったので、店主Bに頼み後日支払うことにした。

ところが、Aはその後、遠隔地に転勤を命じられ、飲食代金を未払いのまま3年間が経過した。その後Aは、久しぶりにBの飲食店で食事をした。そのとき、店主BはAの飲食代金を受け取っていないことを思い出した。しかし、この3年間、代金が少額であったため、BはAに対して一度も請求をせず、そして、(a)民法で規定されている飲食代金の時効期間が過ぎていた。そのため、BはAに対して飲食代金の請求を行うことはしなかった

一方Aも、食事中に以前の飲食代金の未払いを思い出した。Aは、(b)時効によって受ける利益の主張をすることをせず、Bにこれまでの未払いを謝罪し飲食代金を支払った。

問1. 下線部(a)について、次のなかから正しいものを一つ選びなさい。

- ア. 6か月 イ. 1年 ウ. 2年

問2. 下線部(b)を何というか、次のなかから正しいものを一つ選びなさい。

- ア. 時効の援用 イ. 時効の停止 ウ. 時効の中断

15 次の文章を読み、問いに答えなさい。

Aは、近所のスポーツクラブでBと顔見知りになった。ある日、Aがトレーニングを終えるとBから「旅行に行くのでデジタルカメラを貸してくれないか」と頼まれた。デジタルカメラは最近買ったばかりで、Aは少々不安になったが、今後のBとのつきあいを考え貸すことにした。

翌日Aは、「(a)デジタルカメラは5日ほど貸します。世話になっているのでお金はいりません」と言って、手渡した。しかし、旅行から帰るとBはAに無断で、友人Cにデジタルカメラを買わないかと持ちかけた。CはBの所有物であると信じ、代金と引き換えにデジタルカメラを受け取った。

数日後、このことを知ったAは、Cに対して「デジタルカメラはBに貸したものであり、真の所有者は自分である」と返還を請求した。Cは突然のAからの申し出に驚いた。しかし、すでに代金の支払いも済ませ、引渡しを受けていることから、(b)CはAに対し、「自分は善意無過失の買い主であり、デジタルカメラの所有権は自分にある」と主張し、返還を拒否した。

問1. 下線部(a)のような契約を何というか、次のなかから適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 消費貸借 イ. 賃貸借 ウ. 使用貸借

問2. 本文の主旨から、下線部(b)の結論として、次のなかから最も適切なものを一つ選びなさい。

- ア. Cは動産の即時取得により所有権を取得するため、もとの所有者であるAからの返還請求に応じる必要はなく、一方AはBに対し損害賠償を請求することができる。
- イ. Cは動産の即時取得により所有権を取得するが、もとの所有者であるAからの返還請求には応じなければならない、このときCはBに対して損害賠償を請求することができる。
- ウ. Cには動産の即時取得が適用されず、所有権を取得するためには、改めてAに対し代金を支払う必要があり、このときCはBに対し損害賠償を請求することができる。

16 次の文章を読み、問いに答えなさい。

Aは父から相続した土地を見に行ったところ、大量のゴミが捨てられており驚いた。

このことに困ったAは、誰がゴミを捨てたのだらうかと、土地を注意深く監視したところ、近隣に住むBがゴミを捨てていることを知った。その後、Aは(a)Bに速やかにゴミを撤去するように申し入れ、1か月以内にAの土地からゴミを撤去すると約束させた。

ところが、1か月後になってもBはゴミを撤去しなかったので、Aは裁判所に訴えた。その後、裁判所はBに対してAの土地からゴミを撤去するように命じた。しかし、Bは裁判所の判決が出ているにもかかわらず、Aの土地からゴミを撤去しようとはしなかった。そのため、(b)Aは裁判所に代替執行の手続きを行い、自分の土地からゴミを撤去しようとした。

問1. 下線部(a)の請求権を何というか、次のなかから正しいものを一つ選びなさい。

- ア. 妨害予防請求権 イ. 返還請求権 ウ. 妨害排除請求権

問2. 下線部(b)の結論として、次のなかから最も適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 裁判所に請求して、第三者にゴミの撤去を依頼し、その費用をBに負担させること。
イ. 裁判所に請求して、Bがゴミを撤去するまで、Bの財産を差し押さえること。
ウ. 裁判所に請求して、Bがゴミを撤去するまで、損害賠償の請求を行うこと。

17 次の文章を読み、問いに答えなさい。

A高等学校の3年1組は、文化祭でたこ焼きを販売することになり、鉄板やガスコンロなどの器材をBレンタル店から借りる契約を結んだ。

しかし、文化祭当日になり、Bレンタル店から、器材が故障したので、修理と点検をしてから学校に届けると連絡があった。そして、(a)指定した時刻から3時間後に器材が届いた。

そのため、たこ焼きの販売時間が短くなり、クラスで計画していた数量を販売することができず、クラスは赤字となった。そこで、後日、「経済活動と法」を学んでいる3年1組の生徒は、(b)Bレンタル店に対して赤字額を補填させることはできないかと調べた。

問1. 下線部(a)のようなBレンタル店の債務不履行を何というか、次のなかから正しいものを一つ選びなさい。

- ア. 履行遅滞 イ. 履行不能 ウ. 不完全履行

問2. 本文の主旨から、下線部(b)の結論として、次のなかから最も適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 3時間後に器材は到着したが、Bレンタル店は、学校に器材が故障したことを連絡しているので、文化祭の赤字額の補填を請求することはできない。
イ. 3時間後に器材は到着したが、文化祭でたこ焼きを販売することができたので、文化祭の赤字額の補填を請求することはできない。
ウ. 3時間後に器材が到着したことで、文化祭で計画通りにたこ焼きを販売することができなかったので、文化祭の赤字額の補填を請求することができる。

選択問題 I 〔企業活動に関する法〕

① 次の文章を読み、問いに答えなさい。

権利や義務の主体である自然人または法人が、商法に定められている営業や、商法に定められている設備や組織で営業を行う場合、その者を商法上、商人という。商人には自分が権利の主体となって、利益を得る目的で商行為を継続的に行う固有の商人と、商行為を行っていないが、店舗などで物品の販売を営業として行う者や、鉱業を営む者など商法上は商人とみなされる□がある。

商人が広い地域にわたって営業を行うためには、それぞれの土地の事情に詳しい別の商人に依頼して取引の媒介や代理をしてもらうことがある。商法では仲介商人である仲立人、問屋、代理商について規定している。

問 1. 文中の□に入る用語は何か、次のなかから正しいものを一つ選びなさい。

- ア. 擬制商人 イ. 公証人 ウ. 商業使用人

問 2. 下線部が行う仲介行為はどのような内容か、次のなかから適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 一定の商人のために継続して、その商人の営業に属する取引を媒介する。
イ. 自分自身が取引の当事者になって、その経済効果だけを委託者に帰属させる。
ウ. 他人からの依頼によって、取引相手を見つけ出し、両者間の商行為を媒介する。

② 次の文章を読み、問いに答えなさい。

Aは全商株式会社に勤めている。全商株式会社の設立手続きは、(a)発行する株式の全部を会社の設立を進めた人だけで引き受ける方法であった。

設立後、この会社は従業員持株会制度を導入した。Aは従業員持株会に加入し、株主となった。株主には会社の運営への参加や会社から経済的な利益を受け取る権利がある。しかし、従業員持株会の保有株式は少なく(b)一定割合の株式をもっている株主だけが行使できる権利は無かった。

最近、Aは従業員持株会の理事となったので、従業員持株会の代表として株主総会に参加した。株主総会では、決議事項の重要度によって決議の方法が異なる。今回の決議事項である(c)決算の承認や取締役・監査役の承認の決議事項を議決するには、議決権を行使できる株主の議決権の過半数を定足数とし、出席株主の議決権の過半数が必要であった。株主総会では、この条件を満たし、決議事項は議決された。Aは株主総会に参加し、株主の権利について理解を深めることができた。

問 1. 下線部(a)を何というか、漢字を補って正しい用語を完成させなさい。

問 2. 下線部(b)を何というか、次のなかから適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 単独株主権 イ. 少数株主権 ウ. 自益権

問 3. 下線部(c)を決議する方法として、次のなかから適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 普通決議 イ. 特別決議 ウ. 特殊な決議

選択問題Ⅱ〔社会生活に関する法〕

① 次の文章を読み、問いに答えなさい。

現代社会では、人は働くことで、社会に貢献し、その社会的責任を果たしている。その働くということ、つまり労務に関して、民法上、雇用・請負・委任の三つの類型がある。

なかでも雇用については、雇う方が雇われる方より有利な立場に立って雇用契約を結ぶことが考えられる。そこで、労働者の利益を守り、人間らしい生活を確保するため、国が労働条件の最低基準を定め、、労働組合法、労働関係調整法の労働三法を制定している。

問1. 下線部において、請負人が結ぶ契約はどのような内容か、次のなかから最も適切なものを一つ選びなさい。

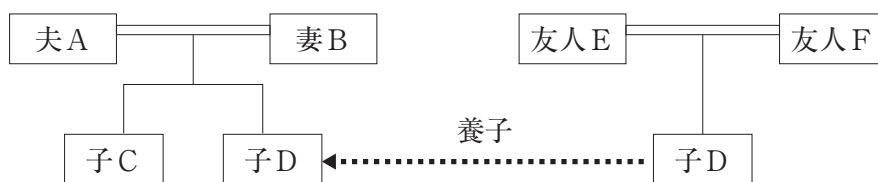
- ア. 使用者の指示で働くことを約束し、使用者がそれに対して賃金の支払いを約束する契約
- イ. 一定の仕事を完成することを約束し、注文者がそれに対して報酬の支払いを約束する契約
- ウ. 法律行為やその他の事務処理を約束し、依頼者がそれに対して報酬の支払いを約束する契約

問2. 文中のに入る法律名を漢字で記入しなさい。

② 次の文章を読み、問いに答えなさい。

病気療養中のAは、妻B、子C、子Dの4人で生活していた。子Cは(a)結婚1年後、この夫婦の間に生まれた実子である。一方、子Dは友人Eと友人F夫婦の間に生まれたが、友人Eと友人Fが突然の交通事故で亡くなったので、(b)子Dが3歳の時、ともに25歳を超えていたAと妻Bが、家庭裁判所に請求して認められた養子である。

先日、病状が悪化したAが亡くなってしまった。Aの遺産は、妻Bおよび子Cと子Dで法定相続分をそれぞれ相続することにした。なお、Aには遺書は無く遺産は1,200万円であった。



問1. 下線部(a)のような実子を何というか、次のなかから正しいものを一つ選びなさい。

- ア. 嫡出子
- イ. 非嫡出子
- ウ. 準正嫡出子

問2. 下線部(b)のような養子縁組を何というか、次のなかから正しいものを一つ選びなさい。

- ア. 普通養子
- イ. 代諾養子
- ウ. 特別養子

問3. 本文の事例では、子Dの相続額はいくらか、次のなかから正しいものを一つ選びなさい。

- ア. 200万円
- イ. 300万円
- ウ. 400万円

第23回商業経済検定試験
経済活動と法解答用紙

得点

問1	問2	問3
1		

問1	問2
2	

--	--

	問1	問2	問3
3	権		

	問1	問2	問3
4	権		

--	--

	問1	問2	問3
5			

	問1	問2	問3
6			

	問1	問2	問3
7			

--	--

	問1	問2	問3
8			

	問1
9	

	問1
10	

--	--

	問1	問2
11	万円	

	問1	問2	問3	問4	問5
12	利率				

--	--

	問1	問2	問3
13			

	問1
14	

--	--

	問1	問2
15		

	問1	問2
16		

	問1	問2
17		

--	--

注：選択問題　　いずれか1分野を解答すること。2分野を解答した場合は、選択問題すべてを無効とします。

選択問題Ⅰ〔企業活動に関する法〕

	問1	問2
1		

	問1	問2	問3
2	設立		

--	--

選択問題Ⅱ〔社会生活に関する法〕

	問1	問2
1		

	問1	問2	問3
2			

受験場校		受験番号
------	--	------

総得点	
-----	--

経済活動と法模範解答

(各2点)

秘

()内は別解である。

得点

	問1	問2	問3
1	ア	公布	イ

	問1	問2
2	イ	ア

10

	問1				問2	問3
3	知 (無知)	的 (体的)	財 (財所)	産 (産有)	権	ウ
					ウ	ウ

	問1	問2			問3
4	ウ	地	役	権	ウ

12

	問1	問2	問3
5	ウ	ア	ア

	問1	問2	問3
6	イ	イ	ア

	問1	問2	問3
7	イ	ア	ウ

18

	問1	問2	問3
8	イ	イ	ウ

	問1	問2
9	イ	ウ

	問1	問2
10	ウ	イ

14

	問1	問2
11	400 万円	ウ

	問1	問2	問3	問4		問5
12	ア	イ	イ	約	定	利率
						ア

14

	問1	問2	問3
13	イ	ア	ウ

	問1	問2
14	イ	ア

10

	問1	問2
15	ウ	ア

	問1	問2
16	ウ	ア

	問1	問2
17	ア	ウ

12

選択問題 I [企業活動に関する法]

	問1	問2
1	ア	ウ

	問1	問2	問3
2	発起	設立	イ
			ア

10

選択問題 II [社会生活に関する法]

	問1	問2
1	イ	労働基準法

	問1	問2	問3
2	ア	ウ	イ

選択問題 I [企業活動に関する法]・選択問題 II [社会生活に関する法] の2分野を答えた場合は、選択問題を0点として下さい。

総得点 100